

エクセルを使ってビックデータを集計する

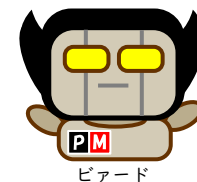
整理

分析

可視

エクセルでビックデータの集計を行う一例を紹介します。

- MicrosoftのAccessを使わず、エクセルを使ってサクッと集計したい。
 - ファイルが大きくて（104万行以上のデータ）エクセルで開く事ができない。
- エクセルの「Power Pivot」「Power Query」を使えるとその問題が解決できます。
そんなに難しくないのでチャレンジしてみてもいいのではないでしょうか。



ビャード

項目	パワーピボット (Power Pivot)	パワークエリ (Power Query)
役割	大量データのモデリング、関係構築、複雑な集計や分析	データの取り込み・整形・変換・クレンジング
メリット	<ul style="list-style-type: none">大量データを高速処理可能データモデル作成で 複数テーブルを結合可能DAX関数（データ分析用の式）で高度な計算が可能ピボットテーブルとの連携が強力	<ul style="list-style-type: none">様々なデータソースからのデータ取得が簡単GUIベース（視覚的なインターフェース）で直感的な操作クレンジングや変換処理が豊富変更履歴が保存され再利用可能
デメリット	<ul style="list-style-type: none">初心者にはDAX（データ分析用の式）の習得が難しいデータ準備はできないため、前処理が必要	<ul style="list-style-type: none">複雑なデータモデリングには不向き大量データの集計や分析は苦手計算処理はできない
主な利用シーン	分析用データモデル構築、複雑な集計やKPI作成	データの前処理・整形、異なるデータソースの統合

今からBIツールやAccess覚え
ると言われても困りますん？
でもエクセルだと
シュシュッと作れちゃうアレ！
ですん

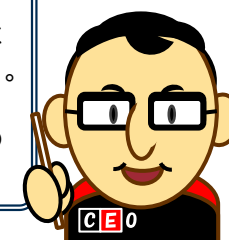


DBって名前付いてます
からビックデータは、お
まかせ下しますん

ビックデータがエクセルでも扱えて、そのまま分析資料が作れます

ビックデータって意外に使う
場面があったので、日頃
から使ってるエクセルで対
応できるって知ったときは
ラッキー！って思いました。

パワークエリから始めるの
が分かりやすいですね。



瀬尾さん